
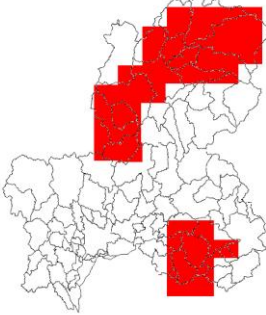


ビッチュウフウロ	<i>Geranium yoshinoi</i> Makino ex Nakai	準絶滅危惧
		フウロソウ科
選定理由	分布域の一部において生育の条件が悪化しており、種の存続への圧迫が強まっていると判断される。	写真(高橋弘) 
形態の特徴	茎は直立し、高さ40-70cmになる多年草。茎・葉柄ともに下向きの細かい圧毛がある。托葉は草質で合生することが多く、長さ約4mm。花期は8-11月。枝先に淡紅紫色で径約2cmの5弁花を開く。花柱分枝は長さ3-3.5mm。	
生態的特徴	山地の草地に生える。	
分布状況	本州(長野県南部、東海地方、近畿地方北部、中国地方)に分布する。県内では県北のかなり広い地域及び県南の東部・北西部に生育する。	
減少要因	本種の分布域は県北及び県南の狭い地域に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定できることのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)	
		

文責:佐藤和良